

## 信濃川大河津分水 あんなこと！こんなこと！

### ～大河津分水を訪れた皇族～

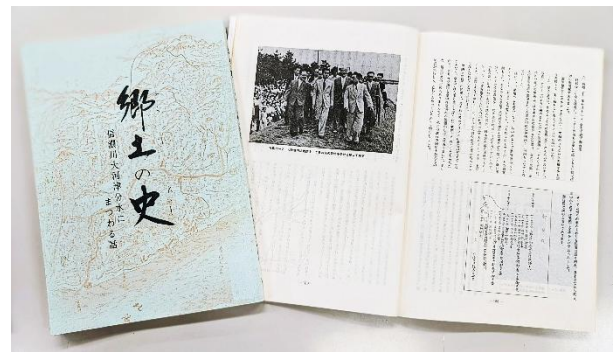
9月6日(土)・7日(日)に新潟市朱鷺メッセで防災推進国民大会(通称 ぼうさいこくたい)が開催されました。2016年から開催され、今回2025年は第10回となります。会場では防災についての多様なプログラムがあり、多くの方が来場されたそうです。7日(日)には天皇皇后両陛下の長女の愛子さまが出席され、講演を聴講されました。皇族の方が来県されたと言えば、過去に大河津分水を皇族の方々がご視察されたのはご存知でしょうか？

初代館長の渡部 武男氏が執筆された『郷土の史(ごうどのたから)信濃川大河津分水にまつわる話』(非売品)に、その記録が記されています。下記をご覧ください。こんなに多くの皇族が御視察に来られているのに驚きました。

愛子さまを一目見ようと多くの人が各所に訪れたとニュースに出ていましたが、過去には大河津分水にも天皇陛下(昭和天皇)、皇太子殿下(現 上皇陛下)の御視察に多くの民衆が沸いたと書かれています。最後の皇族御台臨から、かなり時間が経ちました。もうそろそろ、どなたか御視察に来られないかな…と。タイムリーな話題ということで取り上げました。渡部氏の書籍には当時の様子が詳しく書かれています。資料館3階情報ライブラリーにありますので、お近くにお越しの際にご覧ください。

(文責:榎本 麻美子)

- ◇大正14年9月23日 久邇宮那彦王殿下、  
同妃殿下、同女王殿下
  - ◇大正15年6月17日 伏見宮博恭王殿下
  - ◇昭和10年5月15日 閑院宮載仁親王殿下
  - ◇昭和10年7月20日 梨本宮守正王殿下
  - ◇昭和15年6月24日 高松宮殿下
  - ◇昭和17年5月12日 朝香宮殿下
  - ◇昭和22年9月27日 天皇陛下
  - ◇昭和31年7月17日 皇太子殿下
- ※表記は書籍より抜粋しています。



## イベント報告

### 信濃川教養講座『バッグを編む』

- ①日時:令和7年8月9日(土) ②8月31日(日)  
両日ともに13:30~15:30
- 参加者数:①6名 ②6名(会員限定)
- 会場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール
- 講師:中川 アイさん(会員)

今年度の編み物はひとつの作品を2回の講座に分けて開催しました。編んだ作品は手のひらサイズの丸いミニミニバッグです。講座で大まかな編み方を教えてもらい、宿題として家である程度まで編み進め、2回目の講座で残りを編みました。先生から分からない箇所を丁寧に教えてもらいながら作業をし、あっという間に2時間が過ぎました。編み物経験者の皆さんですが、なかなか難しいと苦戦しながらも完成していたので、さすがです。熱中して疲れたけど出来上がって嬉しいと喜んでいただきました。



第1回 8月9日(土)



第2回 8月31日(日)



## 信濃川教養講座『新聞で作るお花のブローチ作り講座』

- 日時:令和7年8月23日(土) 13:30～15:30
- 参加者数:7名
- 会場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール
- 講師:斉藤 啓子さん(会員)



会員以外の一般の参加者も交えてブローチ作り講座を開催しました。新聞の広告欄を利用して作るお花のブローチは紙製とは思えない仕上がりになります。作る過程で難しいのは、糊を塗って乾かないうちにシワを寄せて花びらにするとこでした。慣れればうまく出来るのですが、感覚を掴むまでが大変だったようです。キラキラしたマニキュアを塗ったりすると、一気に華やかさが増しました。新聞なので気兼ねなく作れるブローチでとても好評でした。



## 水辺の生き物観察会

- 日時:令和7年9月27日(土) 9:00～10:30
- 参加者数:8組27名
- 場所:大河津分水公園 体験水路

今年度最後の生き物観察会、屋外活動にとっても気持ちの良い天候に恵まれました。前回より水の温度が低くなり、秋を少し感じました。水路の中は草がかなり生い茂り、かき分けながら進んでいかなければならない状況ですが、子供はまったく臆することなく、魚を捕ることに夢中になっていました。むしろ、それも楽しかったのかもしれません。参加された方から子供がとても喜んで家族に楽しそうに報告してましたと感想のメールをいただきました。子供達の経験として自然に触れ合うイベントを開催することの大切さを実感しました。ご協力いただいたスタッフの皆さん、ありがとうございました。

## 資料館周辺施設巡り



【石碑で辿る大河津分水】(約1.5km)

- 日時:令和7年9月27日(土) 10:00～11:30
- 参加者数:4名
- コース:信濃川大河津資料館 → 洗堰エリア(洗堰改修記念碑・大河津分水工事殉職之碑など) → 信濃川補修工事竣工記念碑 → 信濃川補修工事従業員一同碑 → 句佛上人句碑 → 信濃川治水紀功碑 → 信濃川大河津資料館
- ナビゲーター:和田 幸蔵さん

参加された方から「初めて知ることが多かったので参加して良かった」と嬉しい感想をいただきました。丁寧なガイドのお陰で大河津分水の役割や歴史を知っていただけたと思います。



【秋の大河津分水歴史探検～新旧洗堰～】(約1.5km)

- 日時:令和7年10月5日(日) 10:00～11:30
- 参加者数:5名
- コース:信濃川大河津資料館 → 旧洗堰 → 新洗堰 → 大河津出張所(操作室) → 信濃川大河津資料館
- ナビゲーター:柳 正市さん

信濃川の水量を調節する洗堰の歴史を辿りながら学べるコースは、もともと洗堰の事を知っている方も、初めて知る事がたくさんあり大変勉強になったとおっしゃっていました。普段入室できない操作室で特別なお話も聞くことができました。

## 環境整備活動 庭木の剪定作業

- 日時:令和7年10月11日(土) 9:00～11:00
- 参加者数:11名

資料館敷地内の庭木剪定作業を行いました。伸びた枝を切り、お花のプランターを綺麗にしました。途中雨が降ってきたので、落ち着くまで休憩をしてから作業を再開しました。支援部、ご協力いただいた会員の方々のお陰で綺麗に整備することができました。ありがとうございました。





## 日帰り県内河川探訪バスツアー 『鵜川沿川の治水対策と歴史・文化巡り』

○日時:令和7年9月29日(月) 8:30~16:00

○参加者数:26名

○行程:大川津ふれあいセンター → 鵜川ダム → 綾子舞会館  
→ 昼食(ホテルニューグリーン柏崎 悠風) → 松雲山荘  
→ 港に浮かぶワクワク! マーケット 夕海 → 大川津ふれあいセンター



柏崎市を流れる鵜川は洪水の治水のために建設された鵜川ダムを最初に訪れ、詳しく職員の方からお話をうかがいました。当日予定していたダム現場へは荒天の影響で行けなかったことが残念ではありましたが、その代わりに現場事務所で映像も交えながら説明いただいたので、分かりやすくとても理解が深まりました。ダムが完成したら、あらためて見に行きたいと思いました。その後の見学地も地域の風土や歴史に触れることができました。充実した内容の1日となりました。

## 大河津改修現場見学会

○日時:令和7年10月6日(月) 13:30~15:30

○参加者数:19名

○行程:信濃川大河津資料館(集合) → にとこみえ〜る館 → 新第二床固 → 野積橋上部  
工事現場 → 山地部掘削現場 → 低水路掘削(車窓から) → 信濃川大河津資料館(解散)



新第二床固の最後の過程に入ってる段階の現場を見学した後に、今回初めて野積橋架替工事の左岸部分を見学しました。巨大な橋脚を近くで見ることができましたので、貴重な視察となりました。これからの野積橋建設の出来上りを見るのが楽しみです。ご案内いただいた、信濃川河川事務所の皆様ありがとうございました。

## イベント案内

### 資料館周辺施設巡り

【秋の大河津分水歴史探検〜新旧可動堰〜】(約1.5km)

◇日時:令和7年10月25日(土) 10:00~11:30

◇定員:15名程度

◇参加費:無料

◇集合場所:信濃川大河津資料館

※天候等の状況によりコース内容・見学場所が変更になる場合があります。

今年度最後の『大河津分水 資料館周辺施設巡り』を開催します。秋の大河津分水をナビゲーターと共に歩きませんか。ご参加の方は事務局へお申込みください。定員になり次第、締切ります。歩きやすい靴・服装、雨具等のご準備ください。



(事業部)

### 第3回ガイド研修

今年度3回目のガイド研修は会員の樋口 勲さんからご案内いただきます。大河津分水に関わる、なかなか見学できない場所をご案内いただきます。資料館ガイドに大変ためになる研修です。運営員以外の方もご参加いただけます。ご希望の方は事務局へご連絡ください。参加者には別途詳細をお送りします。(事務局)

◇日時:令和7年11月4日(火) 9:30~15:00

【見学場所】

◇集合場所:大川津ふれあいセンター

◇定員:20名程度

◇費用:2,000円(昼食代)

◇持ち物:雨具等(雨天の場合)、歩きやすい服装

○樋曾山隧道 ○円上寺隧道(吐口) ○夕暮れの岡

○寺泊海岸(かつての防波堤跡) ○照明寺(良寛ゆかりの寺)

○円上寺隧道(新・旧)呑み口と残土の平野 ○菅原神社 など

※見学場所は変更する場合があります。

理事・監事の皆様

### 第2回理事会を開催します

下記日程で第2回理事会を行います。役員の皆様には別途・文書を送付しますので、ご出席をお願いします。

◇日時:令和7年12月6日(土)13:15~14:30 ◇場所:燕市分水福祉会館

※理事会後、河川文化講演会を開催しますので、会場設営等にご協力ください。

## 信濃川大河津資料館友の会講演会

日本有数のものづくりの街である燕三条、日本一豊かな水量を誇る信濃川と、その氾濫から越後平野を守る大河津分水。これらの関わりや歴史について、株式会社MGNET 代表取締役 武田 修美 様からご講演いただき、その魅力やこれらについて意見を交わします。ゲストにBSN新潟放送 大塩 綾子アナウンサーをお迎えします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。(事業部)

【講演】講師: **武田 修美** 様  
(株式会社MGNET 代表取締役)

講演:『燕三条と信濃川』

◇日時: 令和7年11月22日(土)

14:00~16:00(開場13:30~)

◇定員: 100名(先着順にさせていただきます)

◇会場: 燕市分水福祉会館(燕市上諏訪10-16)

◇参加費: 無料

◇申込締切: 11月20日(木)までに事務局へご連絡ください。定員になり次第締め切ります。



大塩 綾子アナウンサー(BSN新潟放送)  
燕市吉田出身。新潟大学教育学部卒業後、BSN新潟放送に入社。2023年9月~燕市PR大使。  
担当番組は、BSNラジオ「高橋なんぐの金曜天国」、BSNテレビ「ゆうなび」キャスターなど。

武田 修美(ただだ おさみ)様プロフィール



大手自動車メーカーの営業マンを経て、2005年に父親が経営する株式会社武田金型製作所に入社。2011年に同社の子会社として、ものづくり・ことづくり・まちづくりの3事業を手がける株式会社MGNET(マグネット)を設立。燕三条工場の祭典初年度から関わり第5回実行委員長を務め、民間シンクタンクBEECLを設立、観光学の先駆けである横浜商科大学の特任教授も務める。パリの国際写真コンテストで金賞を受賞するなど、近年はフォトグラファーとしても活躍。

◇プログラム◇

司会: 大塩 綾子アナウンサー

14:00 開会

14:05 講演 武田 修美 様『燕三条と信濃川』

14:55 休憩

15:00 トークセッション

武田氏、大塩アナウンサー、友の会理事長により、大河津分水や燕三条の魅力、その伝え方などについて意見を交わします。

16:00 閉会

## 河川文化講演会

200年の伝統と格式を誇る「古町花街」。歴史と文化的価値について、古町花街の会 事務局長の久保 有朋 様からご講演いただきます。貴重なお話をこの機会にぜひお聞きください。ご希望の方は事務局へお申込みください。(事業部)

【講演】講師: **久保 有朋** 様  
(古町花街の会 事務局長、  
敬和学園大学専任講師)

講演:『全国随一の伝統的料亭街「古町花街」  
—その歴史と文化的価値—』

◇日時: 令和7年12月6日(土)

15:00~16:00(開場14:30~)

◇定員: 50名(先着順にさせていただきます)

◇会場: 燕市分水福祉会館(燕市上諏訪10-16)

◇参加費: 無料

◇申込締切: 12月5日(金)までに事務局へご連絡ください。定員になり次第締め切ります。



久保 有朋(くぼ ありとも)様プロフィール

1991年新潟市南区出身。新潟大学で都市計画・まちづくりを学び2020年博士(学術)取得。景観・都市史等の視点から、あらゆる日本文化を継承する稀有な都市空間「花街」を研究。新潟市の「古町花街」に拠点を置き、伝統文化の継承、歴史的町並みの保全に取り組む。また、古町花街の防災力をハード・ソフト両面から強化していく活動にも注力する。旧齋藤家別邸学芸員を経て2025年4月より敬和学園大学専任講師。

講演会後に意見交換会(会員限定)を開催します。講師の久保様を囲んで懇親会(忘年会)を兼ねて行います。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。事務局へお申込みください。

◇時間: 16:15~ ◇会場: 「割烹・仕出し かねこ」

◇会費: 6,000円



河川協力  
団体



流域治水

流域治水オフィシャル  
サポーター



NIPPON  
防災資産

随時  
募集中

友の会会員の皆様へ

資料館ガイドを一緒にしませんか?

資料館に来られたお客様に大河津分水の魅力を伝えるガイドをしてみませんか? 大河津分水について学びながら、一緒に盛り上げていただける方を大募集しています。未経験の方でも大丈夫です。研修をしながら徐々に慣れていただきます。ちょっとでも興味がある方は事務局へご連絡ください。1回/月から調整させていただきます。

【事務局連絡先】

〒959-0123 燕市大川津1215-7

【TEL】080-9876-3683(事務局)

【FAX】0256-97-3682

【Mail】ohkouzu\_tomonokai@yahoo.co.jp

【ホームページ】<https://ohkouzu-tomo.org/>

【Facebook】

<https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>



友の会HP